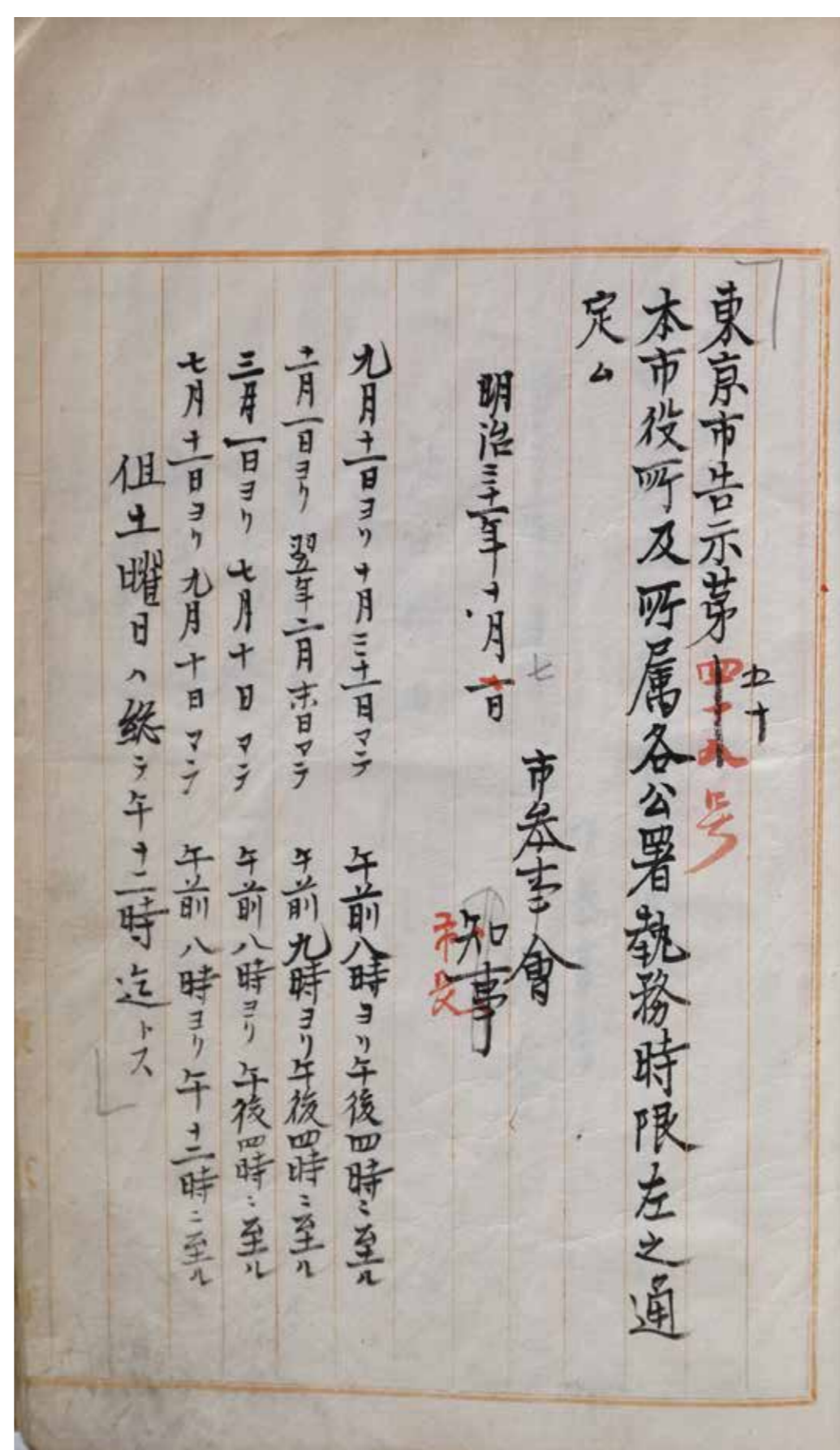
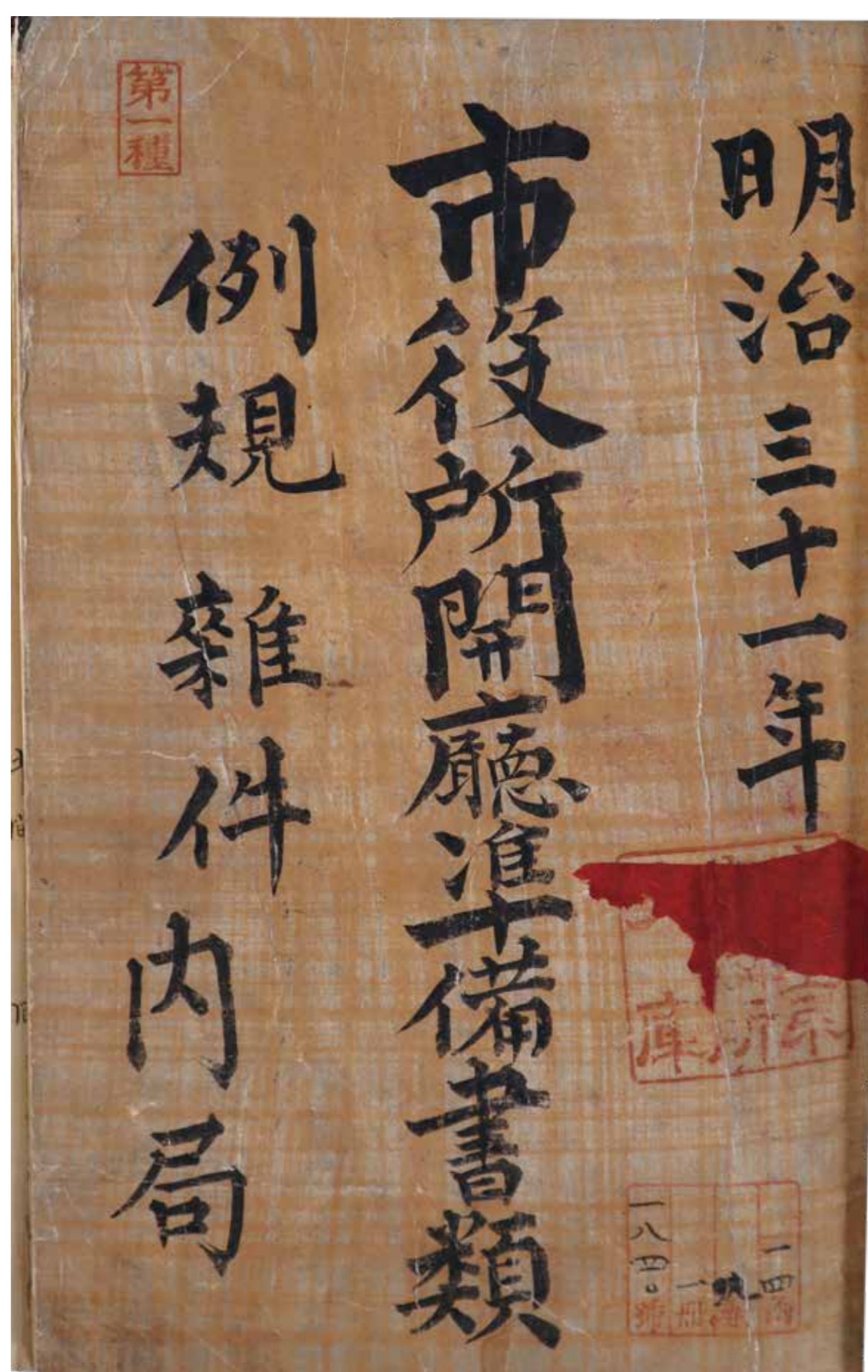


東京市役所の開設

明治31年(1898)、東京市の自治を制限していた市制特例が撤廃され、市長の選任、市役所の開設等が実現しました。10月6日、初代市長には松田秀雄が就任。市役所は、明治27年に完成していた妻木頼黄設計による東京府庁舎(麹町区有楽町)の半分を使用しての出発でした。東京市の公文書『市役所開庁準備書類』には、東京市役所開設に伴う諸規程がまとめられています。



東京府庁・東京市役所 『東京府写真帖』



『市役所開庁準備書類』明治31年(1898)

当時の勤務時間に注目してみると、基本は午前8時から午後4時まで。冬期は始業を1時間遅らせて午前9時から午後4時まで、そして夏期は思い切って正午までで終業であった。